

第47期（2024年3月期） 決算補足資料



STANDARD
TOKYO

アズマハウス株式会社

2024年5月15日

会社概要

| | |
|-------|--|
| 会社名 | アズマハウス株式会社 |
| 英訳名 | AZUMA HOUSE Co., Ltd. |
| 設立 | 1977年（昭和52年）5月2日 |
| 代表者 | 代表取締役社長 東 行男 |
| 本社所在地 | 和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号 |
| 従業員数 | 194名（連結289名） |
| 資本金 | 5億9,676万円 |
| 取引所 | 東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：3293） |
| 株主数 | 3,160名（2024年3月31日現在） 発行済株式数 8,063,400株（2024年3月31日現在） |
| 単元株数 | 100株 基準日 3月31日・9月30日 |
| 事業内容 | 不動産業、不動産賃貸業、建設業、ホテル業、飲食業、保険代理店業 |
| 連結会社 | 株式会社賃貸住宅センター、株式会社シージェーシー管理センター、株式会社アイワライフネット、こうこく不動産株式会社 |



社長挨拶（トップコメント）

当社グループにおける第47期（2024年3月期）（2023年4月1日から2024年3月31日）の業績は、前年同期と比較して減収減益となりました。なお、当初予算に対しても減収減益となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、行動制限の撤廃や入国制限緩和により社会経済活動の正常化が進み、個人消費の回復など経済に前向きな動きが顕在化しております。しかしながら、原材料価格、エネルギー価格の高騰は継続しており、依然として経済全体の先行きは不透明な状況が続いております。

不動産関連業界におきましては、住宅ローン金利の上昇懸念等はあるものの住宅取得支援策は継続しておりますが、建築資材・住宅設備の断続的な上昇による影響が顕在化しており、近畿圏市場における新築住宅及び中古住宅の成約件数については、共に前年同期比を下回る結果となりました。

このような事業環境の中、当社グループは、総合不動産会社であるメリットを活かし、不動産販売事業・不動産賃貸事業においてワンストップ体制のシナジー最大化戦略としてダイナミック戦略を積極的に推進することで収益力の強化に取り組みました。

当社グループの不動産・建設事業においては、住宅取得支援策に支えられる中、安全性を重視した商品開発を行い、品質管理及び原価管理を徹底的に行うことでお客様ニーズを追求し、新規契約の獲得及び利益確保に努めてまいりました。

不動産賃貸事業につきましては、当社グループが保有する自社物件及び管理物件の安定的な収益を維持しつつ、新規顧客の獲得及び管理サービスの充実を図ることで新規オーナー様の獲得を行い、利益確保に努めてまいりました。

土地有効活用事業につきましては、不動産賃貸事業とのセグメント間シナジー効果と様々な情報チャネルを活用して、安定的な賃貸経営の事業提案を行ってまいりました。

ホテル事業につきましては、行動制限の撤廃、入国制限の緩和及び円安などの影響を受け、訪日外国人が増加し、事業運営が回復いたしました。

当社グループは、安定的な成長を実現できる事業基盤を構築するため、既存主要事業における深耕と拡大化を図り、経営基盤の強化に努めてまいります。また、株主のみならずみなさまへの利益還元を経営課題の一つとして位置付け、株主利益の最大化を目指した経営戦略の実践を努めてまいります。

これからも地域社会に根差した事業基盤を礎に地域貢献、振興支援など地域の皆様から永く愛され続ける企業として、従業員一同、誠心誠意努力してまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



アズマハウスは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

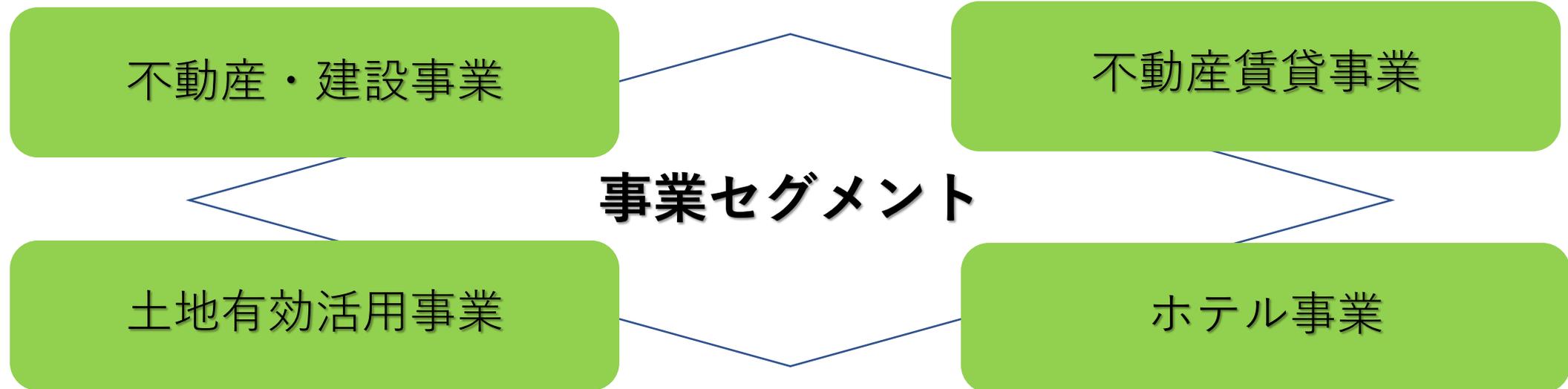
事業概要

～経営理念～

私たちアズマハウスは、全ての分野において「より大切に、より迅速に、すべてはお客様のために」をモットーに、商品の品質・性能・お客様への対応・サービスの向上は無限と考え、徹底してこだわり、お客様満足を徹底的に追及していく所存であります。

～サステナビリティ基本方針～

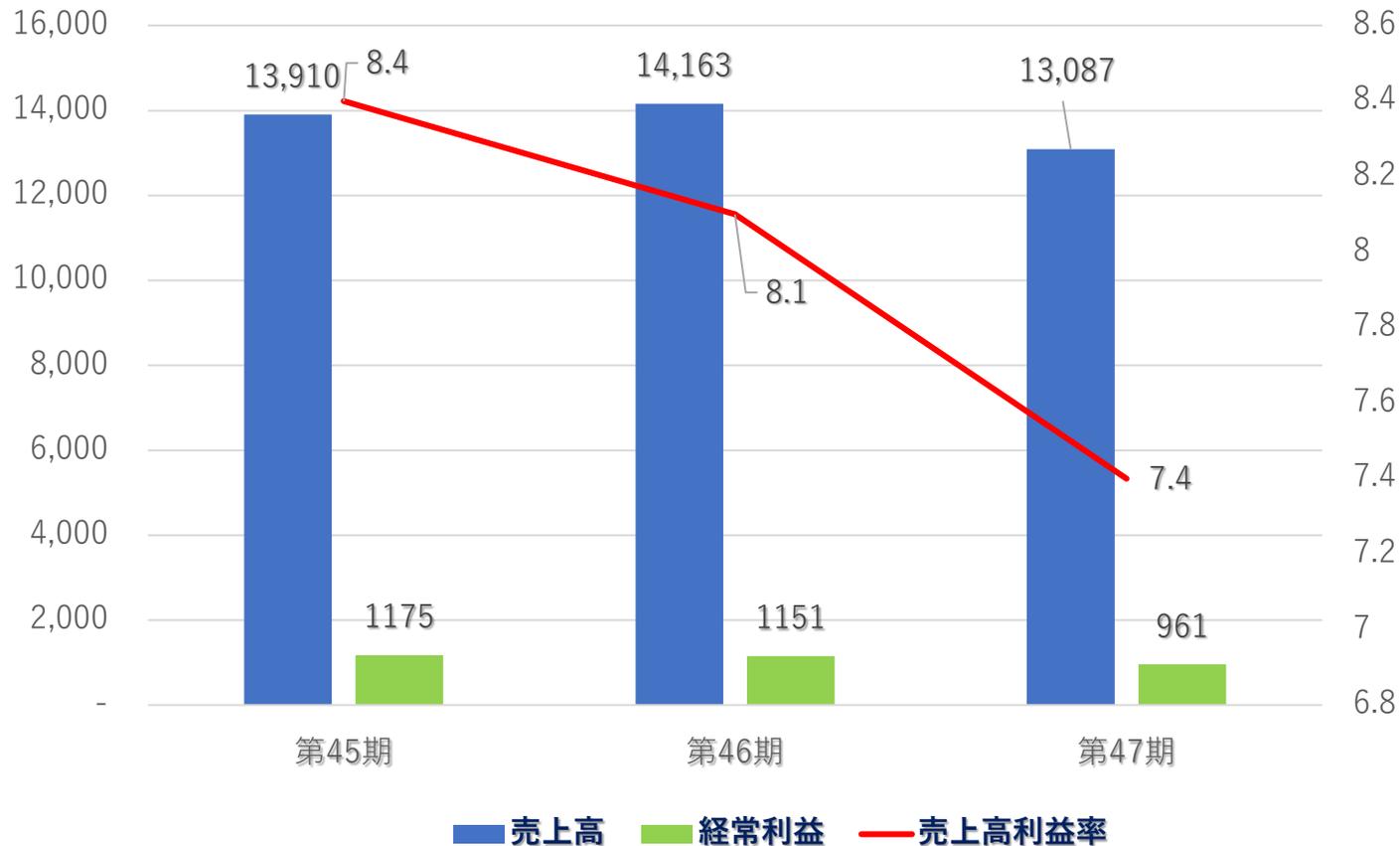
「人も環境も健康に」



連結決算（サマリー）

売上高・経常利益・売上高利益率の推移

（単位：百万円）



第47期売上目標 13,330百万円

第47期経常利益目標 1,070百万円

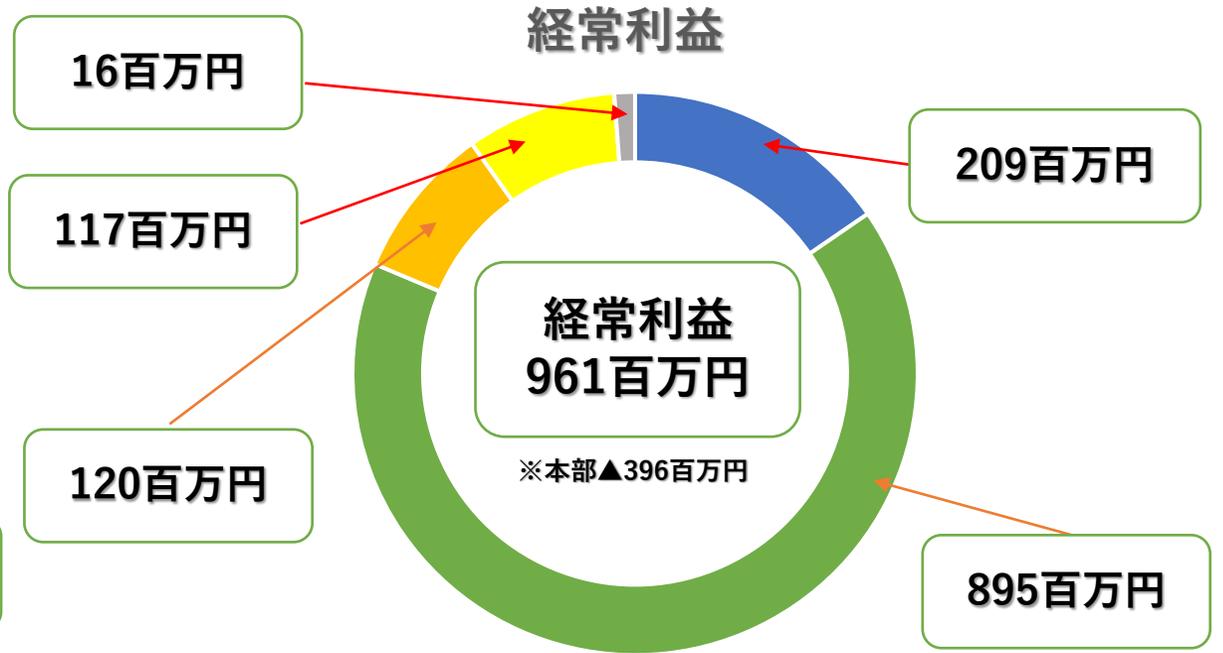
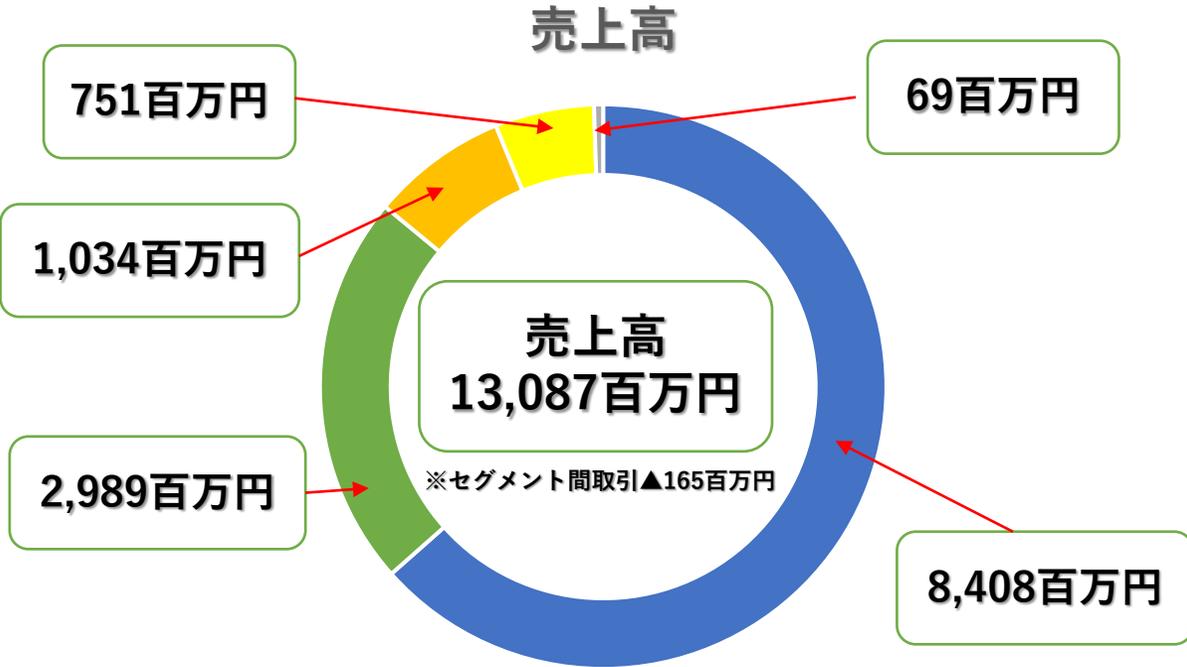
売上高 13,087百万円
（予算比98.1%）

経常利益 961百万円
（予算比89.9%）

売上高利益率
7.4%
（目標8.0%）

連結決算（セグメント比）

※セグメント売上及び利益は、セグメント間取引を含んでいます。



- 不動産建設事業
- 不動産賃貸事業
- 土地有効活用事業
- ホテル事業
- その他

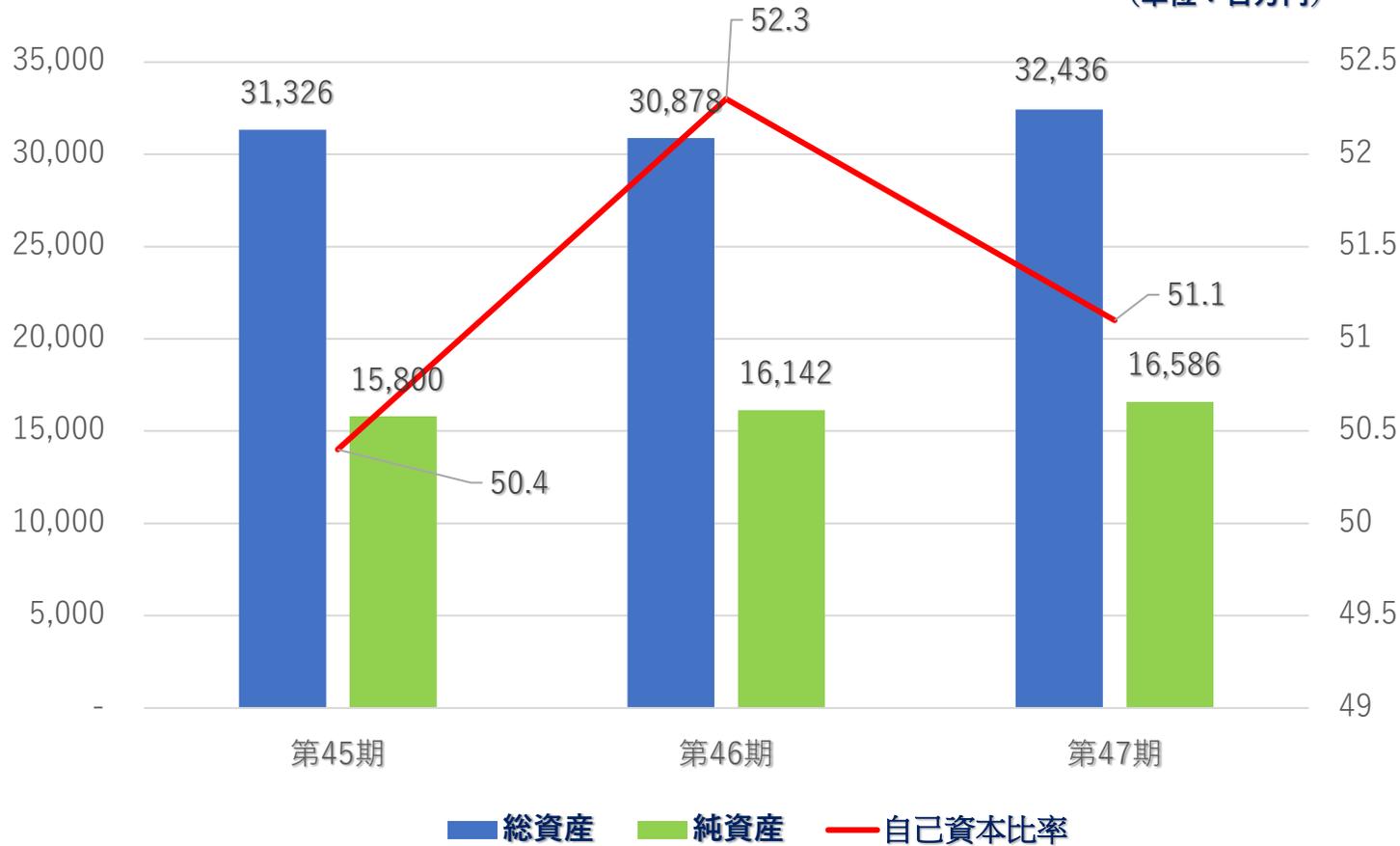
- 不動産建設事業
- 不動産賃貸事業
- 土地有効活用事業
- ホテル事業
- その他

※本部は、セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費です。

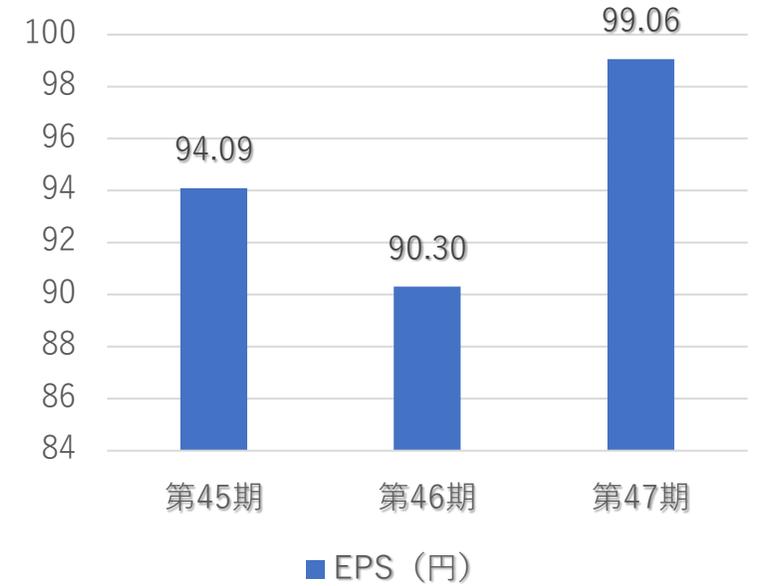
連結決算（サマリー）

総資産・純資産・自己資本比率の推移

（単位：百万円）

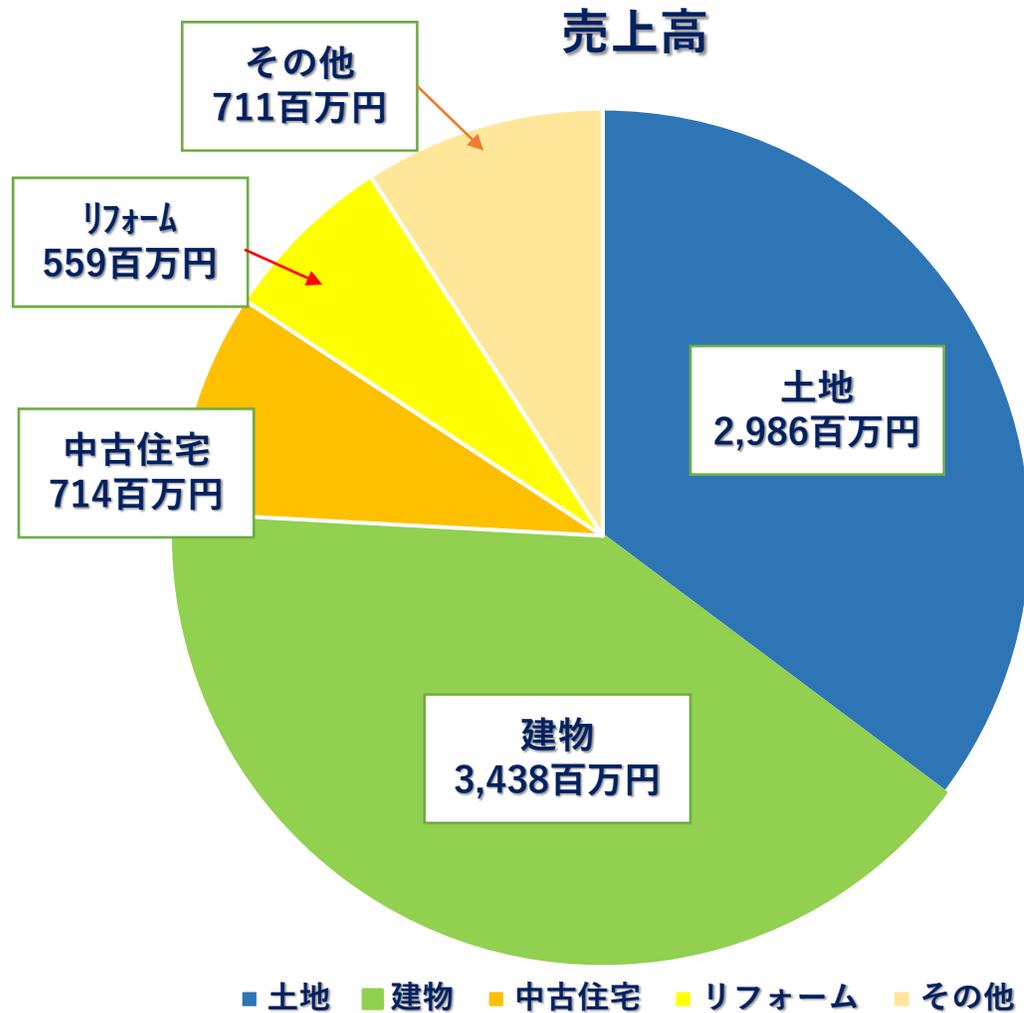


1株当たりの純利益（EPS）



当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。

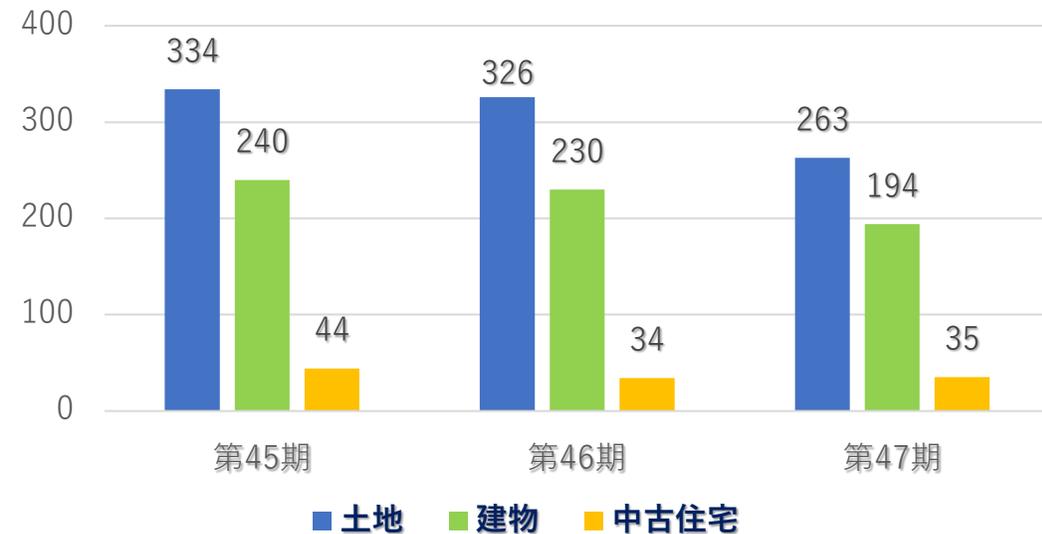
セグメント別実績（不動産・建設事業）



セグメント売上高 8,408百万円
 (前年同期比86.3%：予算比96.6%)

セグメント利益 209百万円
 (前年同期比 48.4%：予算比69.8%)

売上件数推移



セグメント別実績（不動産・建設事業）

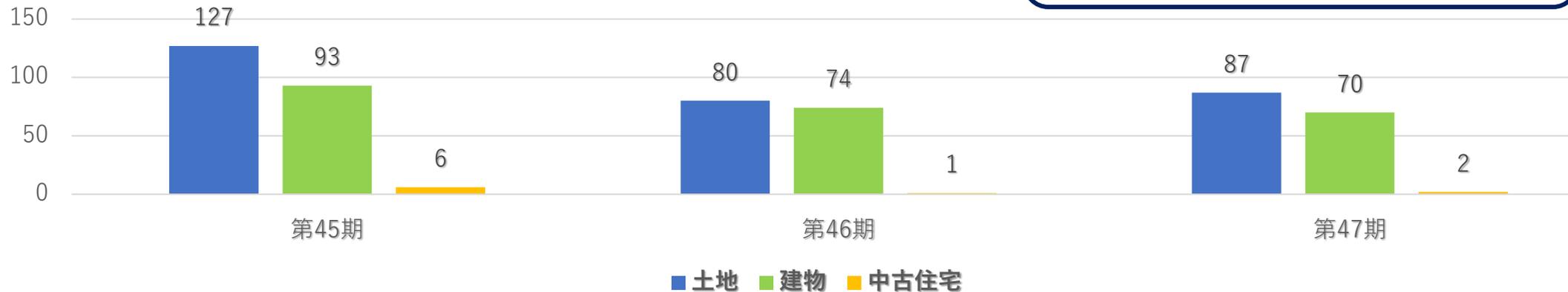
受注件数・受注残件数推移



受注件数の推移



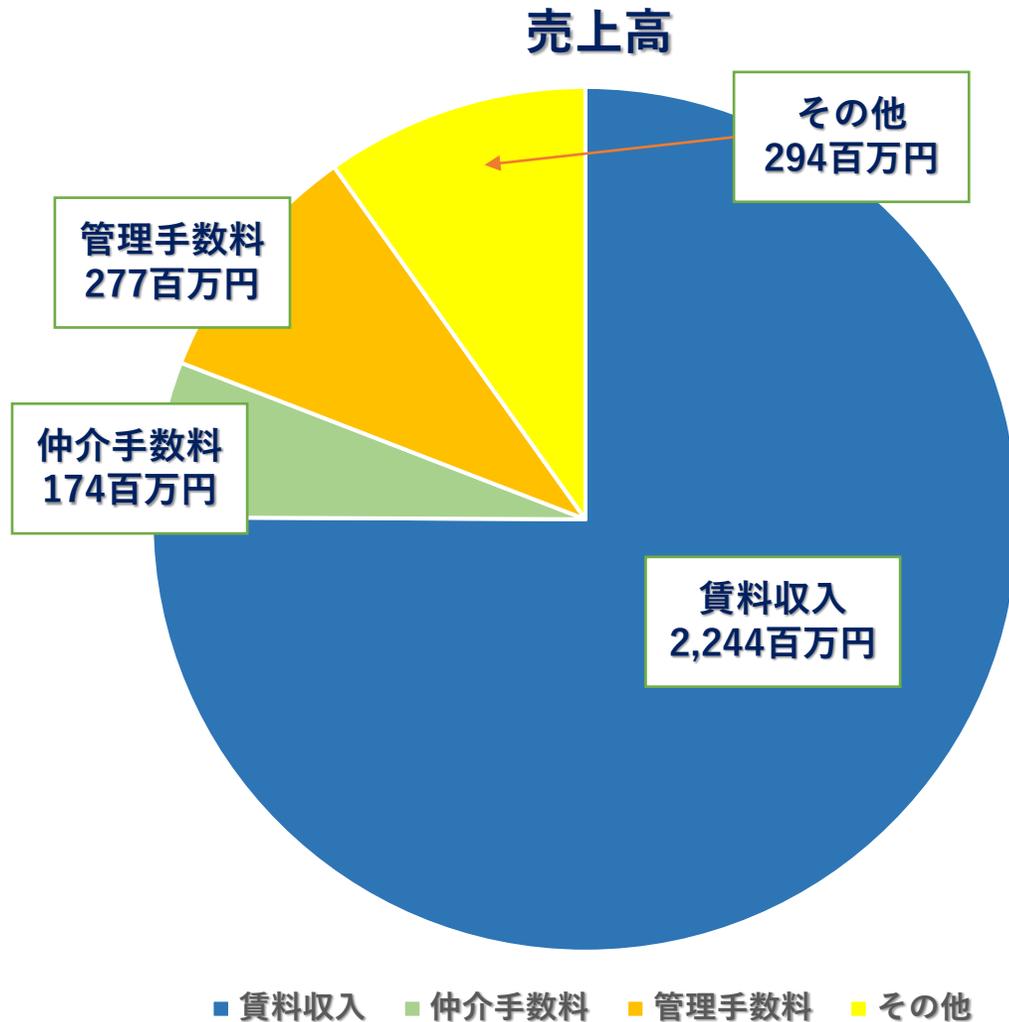
受注残件数の推移



受注残額は、前年比104.6%

セグメント別実績（不動産賃貸事業）

自社入居率 95.85%



セグメント売上高 2,989百万円
(前年同期比104.1% : 予算比102.3%)

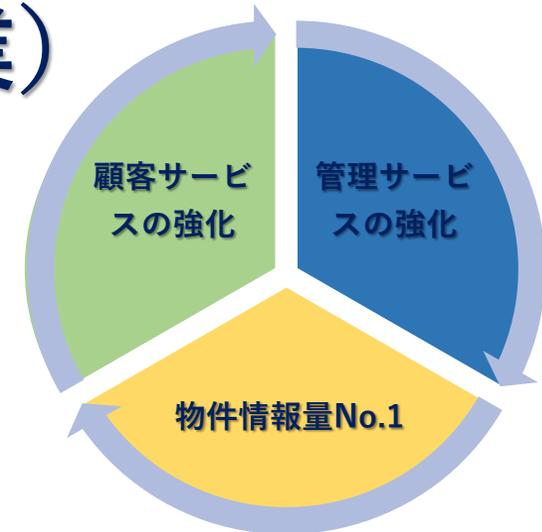
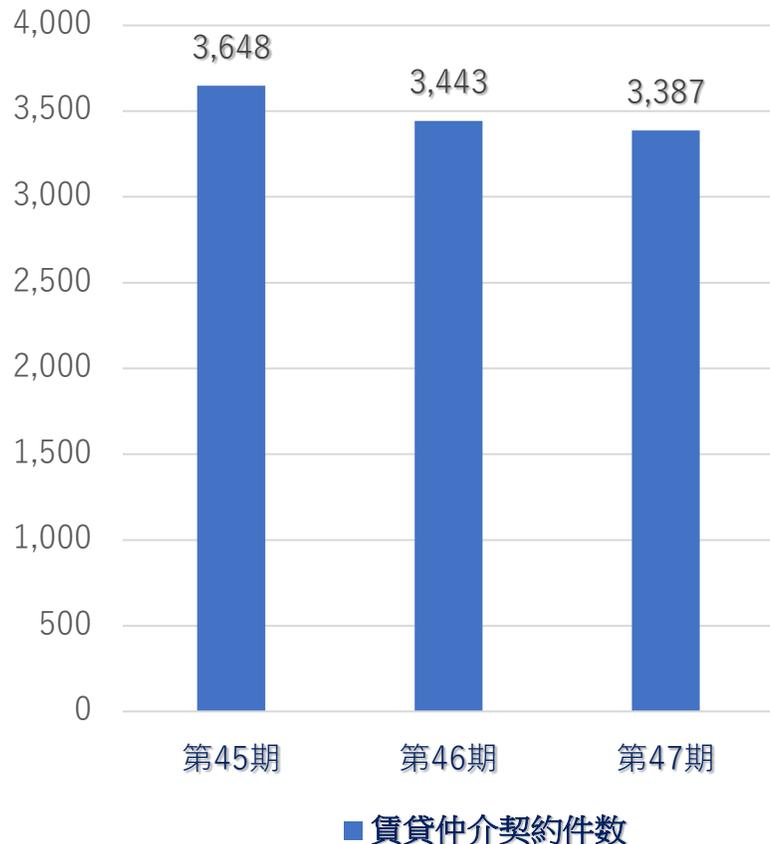
セグメント利益 895百万円
(前年同期比99.6% : 予算比99.4%)

自社戸数及び管理戸数の推移



セグメント別実績（不動産賃貸事業）

賃貸仲介契約件数の推移



管理物件入居率
86.0%

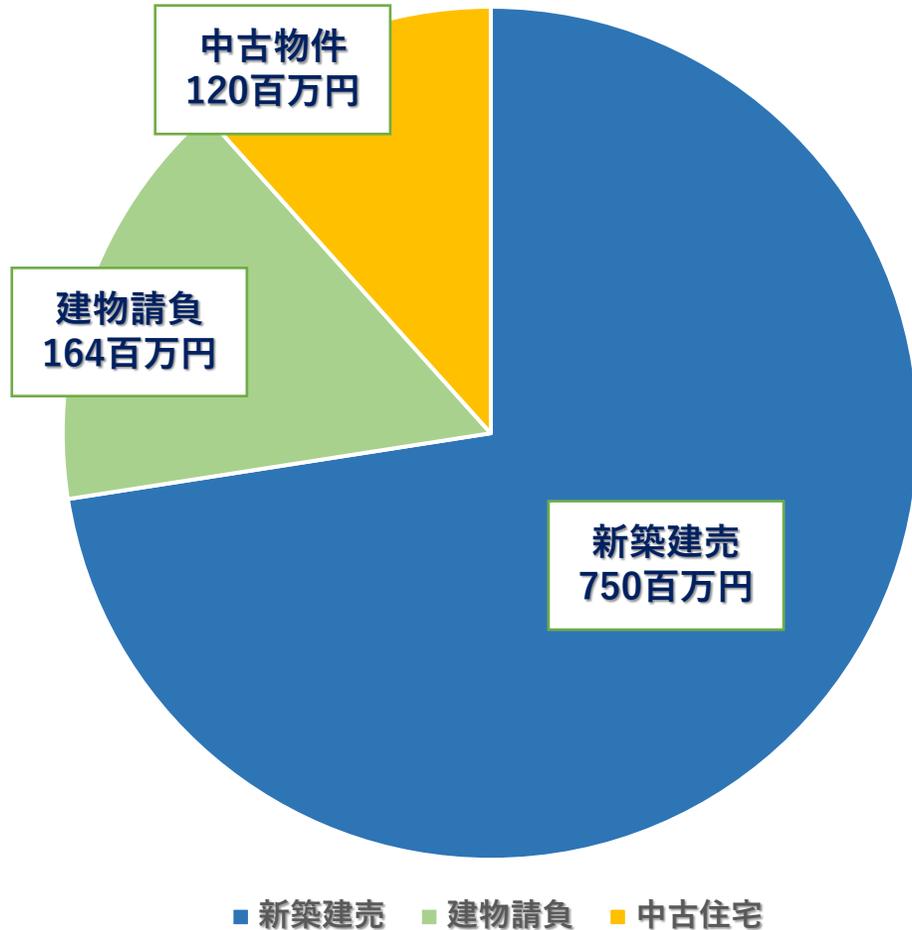
Alliance Information

和歌山県職員労働組合/和歌山市職員互助会/和歌山県農協連専属提携/和歌山大学生協専属提携/県立医科大学専属提携/近畿大学生物理工学部指定/高野山大学専属指定/和歌山信愛大学専属指定/東京医療保険大学和歌山看護学部専属指定/和歌山信愛女子短期大学専属指定/宝塚医療大学和歌山保健医療学部/和歌山リハビリテーション専門職大学/県立高等看護学院/大原学園和歌山校/和歌山コンピュータービジネス専門学校/和歌山国際厚生学院/和歌山英数学館/和歌山YMCA国際福祉専門学校/和歌山口頭美容専門学校/IBW美容専門学校（順不同）

セグメント別実績（土地有効活用事業）

売上高・売上件数

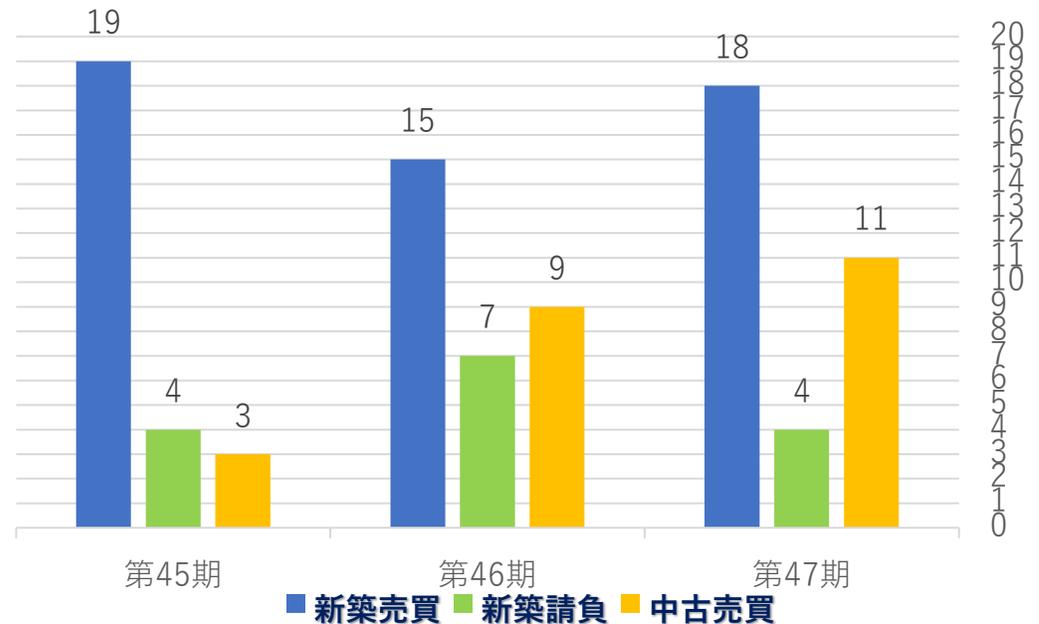
売上高



セグメント売上高 1,034百万円
(前年同期比109.7%：予算比103.5%)

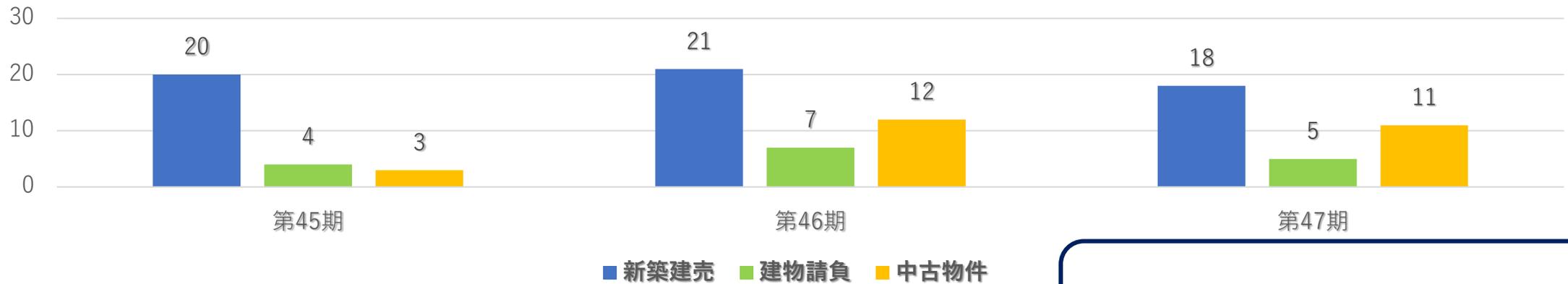
セグメント利益 120百万円
(前年同期比120.6%：予算比137.5%)

売上件数推移



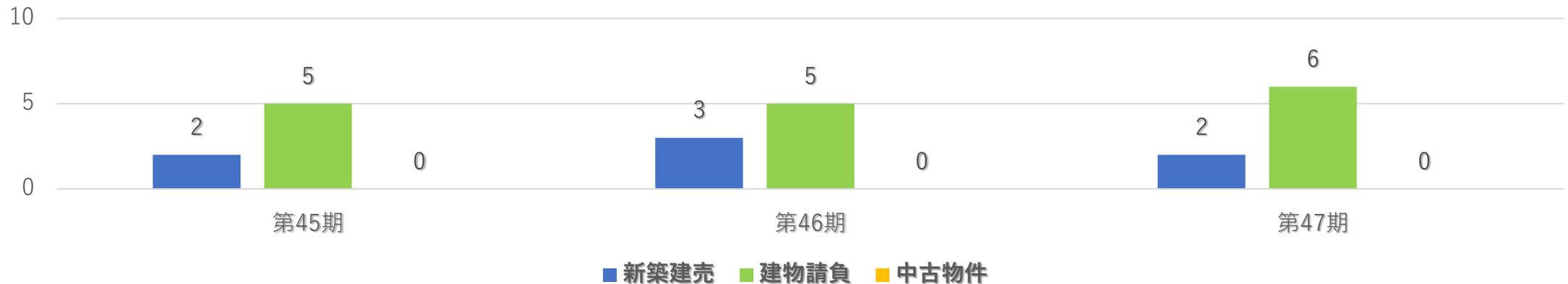
セグメント別実績（土地有効活用事業）

受注件数の推移

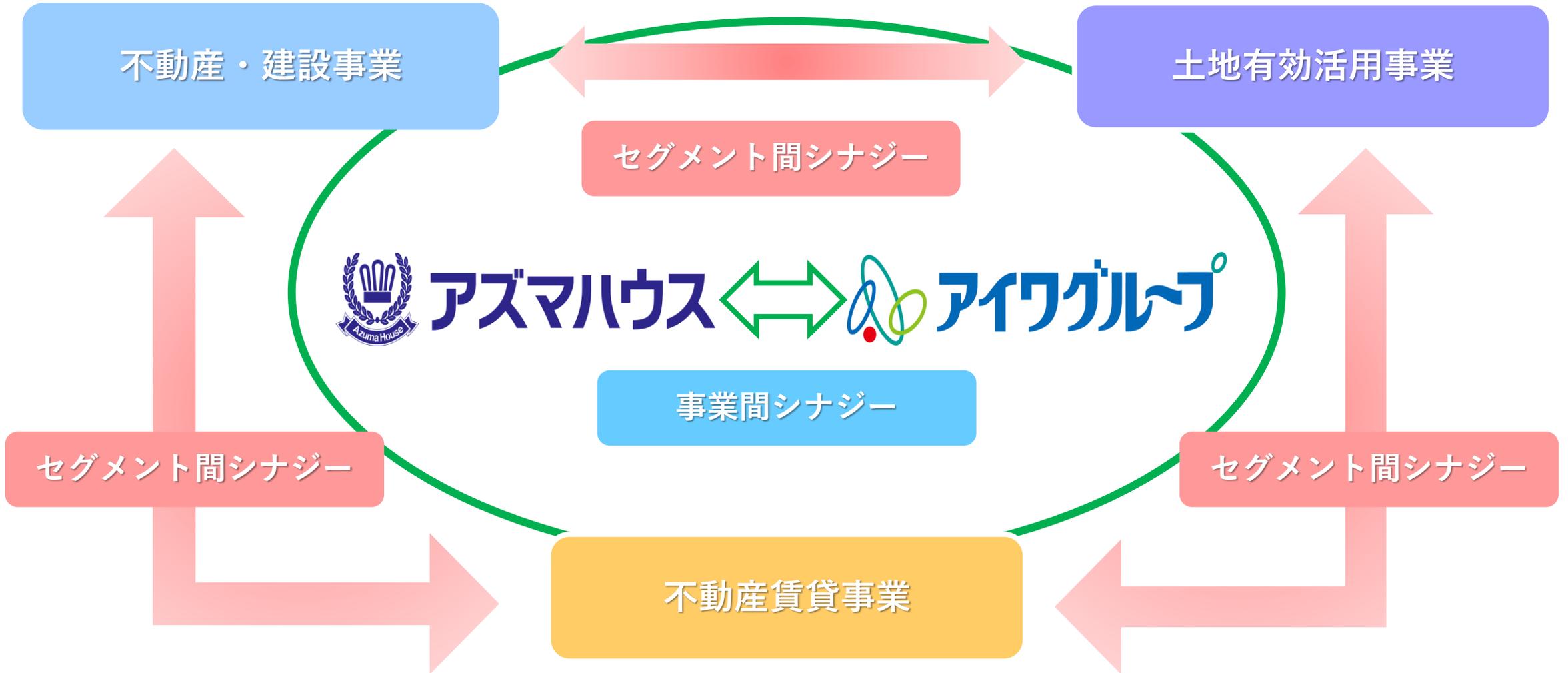


受注残額は、前年比88.3%

受注残件数の推移



セグメント間シナジー



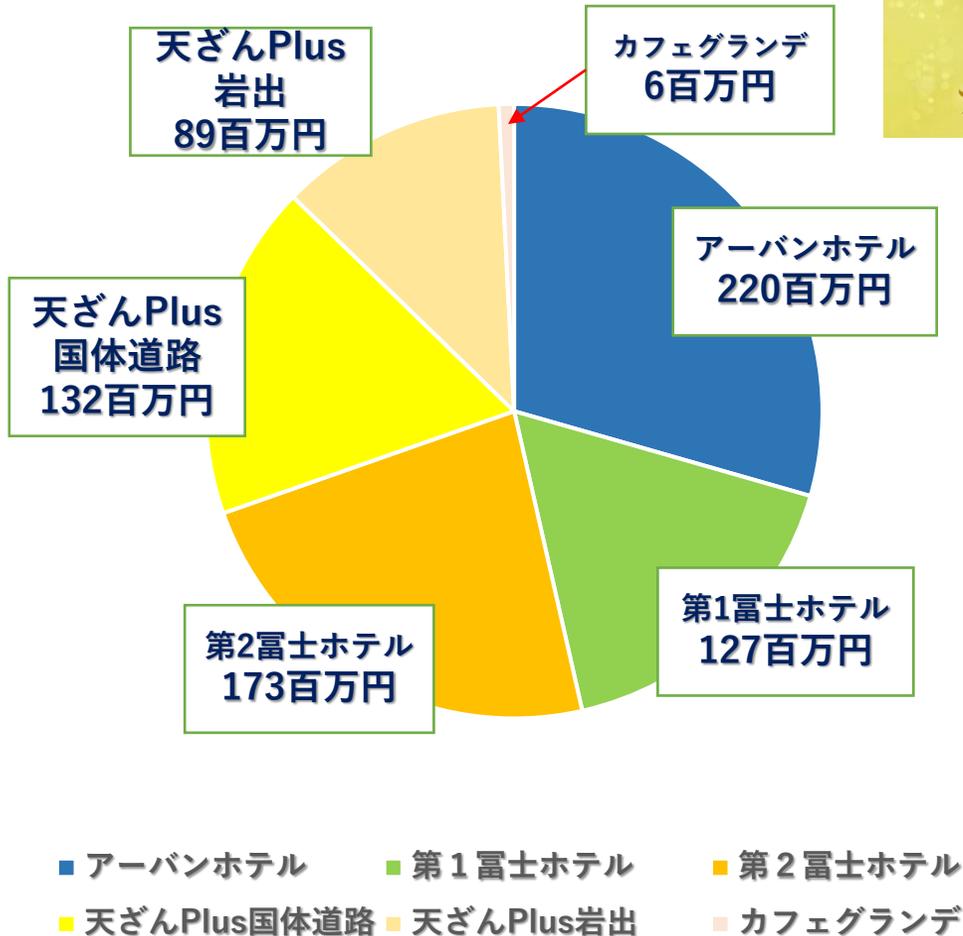
セグメント別実績（ホテル事業）

セグメント売上高 751百万円
 （前年同期比105.8%：予算比100.1%）

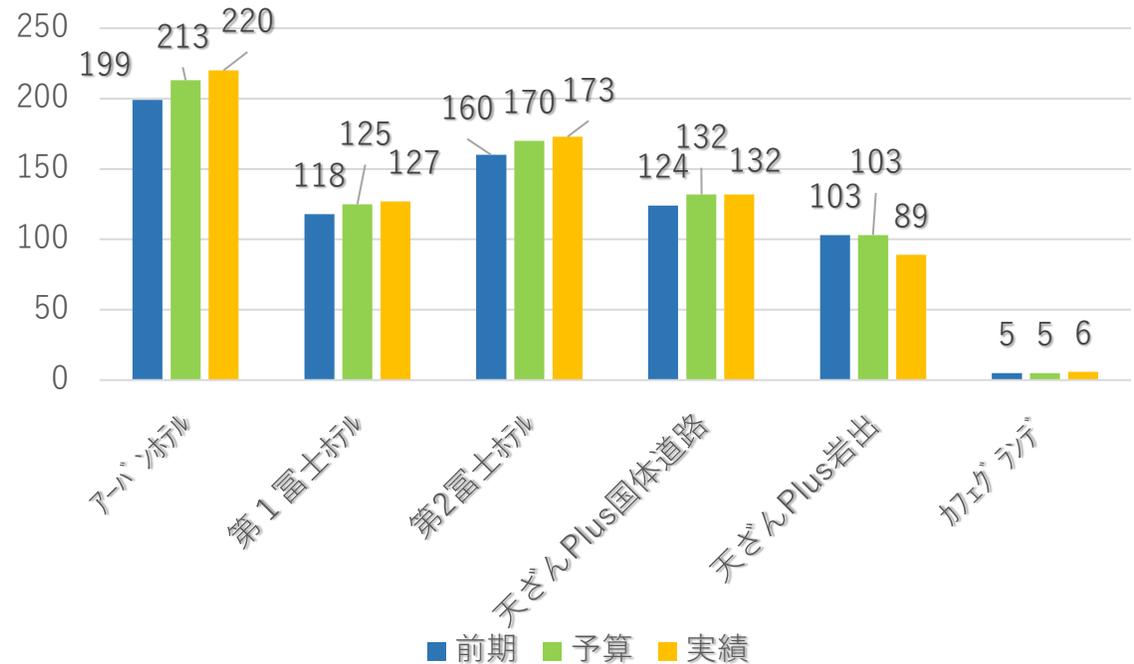
セグメント利益 117百万円
 （前年同期比178.3%：予算比183.9%）



売上高



前年同期・予算比較（単位：百万円）



| ESG | マテリアリティ | 取組テーマ | 取組内容 | SDGs |
|--|-----------------------------------|--|---|--|
|  <p>Environment</p> | <p>住み続けられるまちづくり</p> <p>住環境の向上</p> | <p>リノベーションによる長く住み続けられる家づくりを通じて、社会課題となっている空き家増加の解決に取り組み、住み続けられるまちづくりに貢献</p> <p>高水準な性能等級を有する住宅の建築やリノベーションなどによる性能向上を通じて住宅の耐震性能、省エネ性能、断熱性能を向上し、環境にも健康にもやさしく、長く住み続けられる家づくりを実践</p> | <p>中古住宅再生事業、ストック事業の推進</p> <p>耐震等級3レベルを実現した地震に強い家づくり、環境にやさしい太陽光発電付建売住宅の販売促進、断熱性向上によるヒートショック等の健康被害防止</p> |  |
|  <p>Social</p> | <p>地域社会への貢献</p> | <p>地域社会の活性化に関連するイベントなどを通じ、雇用の促進や青少年育成のための支援活動を積極的に取り組み、持続的な地域社会の構築に貢献</p>  | <p>子ども食堂の運営、学童軟式野球大会の特別協賛、全日本ドッジボール選手権和歌山県大会の特別協賛、一般社団法人和歌山県サッカー協会オフィシャルスポンサー、地元採用イベントへの参加、日本赤十字社の活動支援、特定非営利活動法人国連UNHCRの活動支援、公益社団法人ユニセフ協会支援、パートナーシップ構築宣言、宇宙事業及び宇宙教育活動への支援、ドリームデイ・アット・ザ・ズー2023inアドベンチャーワールドの協賛、和歌山大学ソーラーカープロジェクト（BWSC2023）への支援</p> |  |
|  <p>Governance</p> | <p>人権</p> | <p>ハラスメント禁止や働き方改革の実践により生産性向上を図りながら働きやすい職場環境づくりの取り組み</p>  | <p>「わかやま健康づくりチャレンジ運動」への参加、「健康経営優良法人2024（中小規模法人）」の認定、男性・女性社員にかかわらず育児休業を取得できる体制づくりと推奨、小学校就学前の子を養育する社員の時間短縮勤務、半日単位での有給休暇制度の整備、一般事業主行動計画の策定、コーポレートガバナンス、コンプライアンス</p> |  |

記載情報について

- ・本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- ・将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえで、ご利用下さい。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、お客様自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ
アズマハウス株式会社 経営企画部
電話 073-475-1018
E-Mail : ir_kanri@azumahouse.jp
URL : <https://azumahouse.com>